

発行：2010年7月21日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦  
 連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083  
 ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

山口新聞掲載記事 平成22年5月11日(火)

第三種郵便物認可

山 口

# タイの森林再生へ



遺伝子組み換えトウモロコシを栽培するための土地が広がるタイの山岳地帯＝シャンティ山口提供

「NPO」ジヤンティエロ

タイの山岳地帯で暮らす少数民族の教育支援などを行っているNPO法人「ジヤンティエロ」(本部・周南市、角直彦代表理事)が本年度、現地の森林再生と農業環境の整備に向けた支援活動に乗り出す。民間団体の環境保全活動を支援する地球環境基金の助成を受け、輸出用の遺伝子組み換えトウモロコシの栽培地拡大により樹木の伐採が進んだ森林をよみがえらせる策を講じ、住民の暮らしの向上を図る。現地で支援活動を取りまとめる佐伯昭夫事務局長(65)は「貧困の状況に置かれている民族の生きる力や自立心呼び起こせられれば」と話す。

## 少数民族の生活向上目指す

同法人は1993年設立。40年ほど前に内戦でラオスからタイに逃れ、山岳地帯で厳しい生活を送る少数民族などの少数民族を支援している。近年では、劣悪な衛生環境に置かれていた同族の村に共同トイレなどを設置する活動を支援。日本の「肥だめ」の論理をあてはめており、排せつ物はメタンガス発生装置などを通じて発酵・殺菌され、肥料や水として再利用されている。

地球環境基金の助成は2007年度から連続して受けている。本年度からは各世帯へのトイレの普及や集落排水に対する環境整備を図るとともに、バイオ燃料として需要の高い輸出用の遺伝子組み換えトウモロコシ栽培のため、樹木が伐採されて一面トウモロコシ畑と化した森林の再生にも乗り出す。コストのかかる遺伝子組み換えトウモロコシの代わりにコムやコーヒ、マカダミアナッツのような収穫物のなる苗木を植栽し、緑あふれる農地の確保を図る計画だ。

「育てる品目の選定や苗の育成などを現地の人たちが

自身が学習して実行する過程を支え、持続可能な農業を生み出せば」と佐伯事務局長。「将来的には排せつ物処理の過程で出てくるガスを収穫物の乾燥に使うなど、支援の発展も検討する」と意気込んでいる。

THE YOMIURI SHIMBUN

夕刊

# 読売新聞

2010年(平成22年)

6月21日 曜日

もう10年もたったの  
 か。今月末で引越すこ  
 とになり、有馬実成さん  
 の本も段ボール箱に詰め  
 た。山口県周南市の住職  
 で国際協力NGOセンタ  
 ー理事長を務めたボラン  
 ティアの活動家だった。

カンボジア難民キャン  
 プや阪神大震災の被災地  
 の復興支援に64年の生涯  
 をささげ、2000年に  
 死去。笑みを絶やさな

面立ちが脳裏に残り、告  
 別式で、ひつぎの中を見  
 ることができなかった。  
 「口癖だった「ボランテ  
 ィアは黒子」の言葉を久  
 いオ燃料になるトウモロ  
 コシの増産で荒れた大地  
 に、森林をよみがえらせ、  
 自立できる農業を目指す  
 という。

新しい農法や栽培する  
 作物は住民が決め、側面  
 からの支援に徹する。「有  
 馬さんの思いを引き継が  
 なければ会が活動する意  
 味はないですから」。事  
 務局長の佐伯昭夫さん  
 (65)が語った。(田)

## 夕影